



社会福祉法人鳴瀬会  
すみた荘  
理事長  
櫻井 末男 様

## ご挨拶

長年の懸案でありました、新「すみた荘」の建築工事も関係各位のご協力とご努力によりこのたび落成の運びとなりました。皆様には厚く御礼を申し上げます。

昭和60年4月に開設した特別養護老人ホームすみた荘も30年が経過し、施設への入所も開設当時の措置から平成12年4月の介護保険制度による契約へと変わり、時代の変化とともに高齢者の状況も変化し、自宅で暮らすことが困難な状況が多く見られるようになってきています。このような状況から施設の老朽化とあいまって、岩手県・住田町の支援を得て新施設の建設となりました。

新しいすみた荘は、住田町産材をふんだんに使用した木造のユニット型完全個室の施設となっております。また暖房や給湯は木質チップボイラーを導入し、環境にも配慮した施設になっています。新施設では入居者一人ひとりがその人らしく暮らしていける施設を目指しサービスの充実に努めてまいります。

新施設の開所を機に、気持ちも新たに社会福祉法人鳴瀬会役員一同、より一層の努力を重ね励んで参りますので、皆様のあたたかいご支援、ご努力をお願い申し上げます。

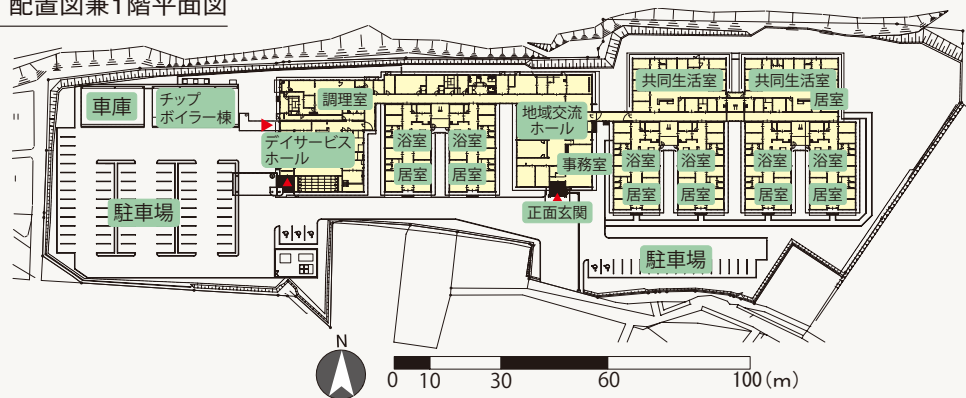


### 社会福祉法人 鳴瀬会 特別養護老人ホーム

### 新「すみた荘」

施工地／岩手県気仙郡住田町世田米宇川向8-2  
竣工年月／平成27年8月  
敷地面積／15,489.03m<sup>2</sup>  
延床面積／5,006.10m<sup>2</sup>  
構造／木造一部鉄筋コンクリート造 平屋建  
入所定員／80床

配置図兼1階平面図



## 安らぎある生活空間

社会福祉法人鳴瀬会様が運営する、「すみた荘」は住田町内で唯一の特別養護老人ホームとして、昭和60年の開所から同町の高齢者福祉事業を支えて参りましたが、施設の老朽化や入所希望者の増加に 대응するため平成27年9月に新「すみた荘」を移転し開所されました。新施設は入所者が自身の部屋としてゆっくりとくつろぎながら、自立した生活が送れるよう全室個室とし、共同生活スペースを中心とした10室を1単位とする8ユニットで構成し、木の温もりに満ちた木造平屋建の施設内は、在宅の住環境に近い家庭的な雰囲気と安らぎのある共同生活空間となっております。



居室



共同生活室

## 利用木材の65%が住田町産木材

外観は複数の連続した各ユニットが交流ホール棟とデイサービスホールを中心に切妻屋根を形成し、個々の建物を連続させることで長屋群を構築し、和風建築物による新たな集落の創出をイメージする計画としました。内部は「森林・林業日本一を目指すまち住田町」に建つ施設として同町産の木材を多用する計画としました。交流ホールやデイサービスホールは柱や梁を前面に表現する大空間とし、ホール内の連続した4本の大黒柱には町産の杉材を採用、腰壁も杉材の羽目板とし自然素材の持つ柔らかな空間を構築しました。施設の建設において使用した住田町産木材は全木材量823m<sup>3</sup>のうち約65%の533m<sup>3</sup>におよび、給湯や床暖房の熱源となる木質チップボイラーの採用などと共に、木材資源の有効利用に努める環境共生型施設として、地域の林業振興と木材産業の活性化に貢献する施設となっております。



地域交流ホール



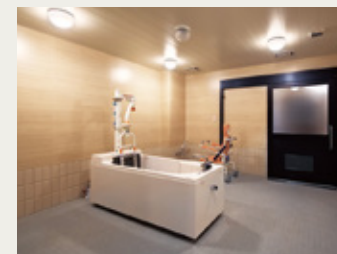
デイサービスホール



チップボイラー棟内部



多機能トイレ



ユニット個浴室